



豚コレラ意見書に全会派賛成

経済環境委員会発議 となり 国会などへ 送付へ

岐阜市議会6月議会で無所属クラブから経済環境委員会へ提出していました意見書「豚コレラ対策の強化を求める意見書」は自民・公明を含む全会派の賛成を頂き、委員会発議の手続きが取れました。26日、本会議全会一致で可決され、国会、関係行政庁、関係国会議員、県内市などに送付される事になりました。

意見書は、① 発生原因や感染経路の早期解明を行う。② 飼育豚に対する緊急ワクチンの接種を実施。③ 発生農家に支払われる手当金等の免税措置を実施。④ 食肉処理業者や流通業者への補償、支援制度を創設。⑤ 市町村が豚コレラ対応に要した費用に対する支援の拡充。⑥ 近隣国で発生している家畜伝染病の侵入防止のための、検疫体制強化。の6点を要望しています。⑥は、アフリカ豚コレラ対策を含んでいます。とりわけ、②の豚コレラワクチン接種は、県内豚殺処分5万頭以上の病気の蔓延状況を見ると、養豚業の再生に必要と思われます。

松原のりかずは、6月議会の質問で「ワクチン接種を国に求める市長の活動」強化を要望しました。意見書採択が市長の活動の後押しになればと思います。

脱原発 意見書の賛成議員 +4で全12人へ拡大

無所属クラブは「脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会実現を求める意見書」を岐阜市議会総務委員会へ提出し、26日の本会議で賛否がはかられましたが賛成者少数で否決。が、立憲民主党が出現し、立憲民主党所属3議員と他1人（自治労組織内）の賛成議員が増え（今までは、反対か退場）全12人の賛成に。意見書提出繰り返す間に「もんじゅ廃炉」を政府自身が決断。今回は「もんじゅ廃炉」の項目が消されました。

松原のりかず趣旨弁明に対し 反対討論皆無!

松原のりかずが、意見書趣旨弁明を行いました。1人の反対討論、一言の反対意見、ヤジさえも、無いまま「反対で座り続ける」議員に、「意見書を本当に理解されているか」心配になる。意見書要望は① 現在稼働している全ての原子力発電所を直ちに停止すること。② 既存の全ての原子力発電所の計画的な廃炉を実施すること。③ 省エネルギー、自然エネルギーを中心に据えたエネルギー政策への転換を早急に始めること。明確に3点。だが、「反対理由を明確にしないまま」反対だけする議会活動は?

岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

セクハラ対策 「相談窓口のカード」配付で周知

報道もされ、6月議会で質問の出ている「複数の嘱託職員による業務委託職員へのセクハラ事件」で、事件の発生と長期化の一因と思われる「被害相談窓口の不周知」についての回答が、6月28日の市政記者クラブで行政部人事課より発表されました。

①7月1日以降の新規採用者（嘱託職員・臨時的任用職員を含む）へ ハラスメント相談窓口記載カードを全員配付する。②委託事業者向け周知として、市職員と同じ執務室内で業務を行なう職場に勤務する人に、対象者への相談窓口カードの配付、ポスター掲示を事業者へ依頼する。の内容です。

②は、今回の事件が、委託会社職員が被害者となり、委託会社への相談窓口周知が不徹底、委託会社職員へも不徹底が明らかになった事への対策と思われます。

この発表と同時に、嘱託職員3名への処分が発表されました。停職3～1ヶ月とされ「3人は同日付けで退職届を出し受理された」（毎日新聞報道）と。松原のりかず質問でられた「岐阜市ハラスメント防止委員会」が開催されたとの事です。

公約 は実施でも 「学校給食の無償化」 請願に反対 ？！

県は、家庭の経済状況が子どもに及ぼす影響を調べるために県内全域で行なった「子ども調査」の結果をまとめ、本年度、調査結果を踏まえて「子どもの貧困対策の実行計画」をまとめるとしています。（6月5日・中日新聞報道） 同時期に、岐阜市も「ひとり親家庭」の実態調査を行なっています。岐阜市の実行計画に期待がされます。

6月議会に「小・中学校の給食費の保護者負担軽減を求める請願」が提出されました。内容は「市内の小・中学校における学校給食費の無償化、または助成を行うこと。」 今日まで「こどもの貧困」については、多くの質問がされ、身近な課題として「学校給食の無償化」が取り上げられて来ました。私の記憶が正しければ、K議員は市長選挙立候補時に「無償化」を公約に掲げられていた記憶。K議員が請願反対されましたが？



松原のりかず
☎058-253-2500